

2021年3月18日

公益社団法人日本ボート協会

強化委員会

2021年日本代表候補最終選考レースにおける 「アスリートレーンセレクション」について

2021年3月25日(木)から26日(金)に開催されます日本代表候補最終選考レースにおいて、選手によるレーン選択制度「アスリートレーンセレクション」を行います。

方法

1. アスリートレーンセレクション(ALS)は2つの手続きが必要となります。第一はドロー(抽選)です。レーン選択優先順位を決定するために行います。第二はドローで決定したレーン選択優先順に自分のレースレーンを選手自身が決定し審判に申告するという2つの手続きです。
2. ALSの1つ目の手続きであるドローはレースの115分前にNTCトレーニングルームに集合し行います。

注) 115分前に集合できなかった選手は優先権を失います。

3. ALSの2つ目の手続きである申告はレースの8分前にスタートエリア(競艇場待機ピット、フィニッシュよりの地点)にて「レーン選択優先順」に各自のレースレーンを審判に申告します。
4. 「レーン選択優先順」は、前レースにおける順位に依存します。「予選」あるいは「テストレース」での優先順位はSBS予選のタイムトライアルのランキングに従って決定されますのでドローは必要ありません。

※医学的事由による欠場選手の「予選」あるいは「テストレース」での「レーン選択優先順」は、そのカテゴリーの最下位とします。

5. 敗者復活戦および決勝では前のレースの順位によりドローが行われます。例えば「予選1組の2位」と「予選2組の2位」の選手が同一レースに入った場合は同

格とみなします。タイム差ではありません。したがって、この 2 人はドロウを行い、レーン選択優先順位を決定します。同様に、下位順位の同格の選手がドロウを行う流れとなります。

6. 選手はスタート地点（競艇場待機ピット、フィニッシュよりの地点）にいる審判員に対し、レース発艇 8 分前 に、そのレースの「レーン選択優先順位」の高い選手から速やかに「所属・氏名・(選択する)レーン」を申告してください。発艇員(スタート審判)の合図の後、選択したレーンに入ります。

注) 8 分前の集合時間に遅れた場合はレーン選択優先権利を失います。

7. 0 ~ 5 0 0 m エリアへの進入は各自のレース開始 15 分前以降となります。
8. 6 艇レース以外のレーン使用に関しては以下のレーンを使用して行います。
5 艇レースの場合、レーンは原則「2・3・4・5・6レーン」から、4 艇レースの場合は、「2・3・4・5レーン」から、3 艇レースの場合は「3・4・5レーン」から、2 艇レースの場合は「3・4レーン」から選択します。

以上